

各 位

会 社 名 東北化学薬品株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 東 康之  
 (東証スタンダード・コード7446)  
 問合せ先  
 役職・氏名 上席執行役員管理グループ長  
 磯辺 謙  
 電話 0172-33-8131

## 業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2022年11月14日付当社「2022年9月期決算短信」において発表いたしました2023年9月期(2022年10月1日～2023年9月30日)の第2四半期業績予想と実績値に差異が生じたので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 2023年9月期 第2四半期(累計) 連結業績予想と実績値との差異

(単位:百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属 する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	18,500	340	365	230	円 銭 265 11
実績値 (B)	18,445	532	552	366	407 21
増減額 (B-A)	△55	192	187	136	—
増 減 率 (%)	△0.3	56.6	51.3	59.5	—
(ご参考) 前期実績 (2022年9月期第2四半期)	19,194	551	572	372	411 92

#### 2. 2023年9月期 第2四半期(累計) 個別業績予想と実績値との差異

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	14,500	340	220	円 銭 244 17
実績値 (B)	14,421	497	338	375 97
増減額 (B-A)	△79	157	118	—
増 減 率 (%)	△0.5	46.2	54.0	—
(ご参考) 前期実績 (2022年9月期第2四半期)	14,565	479	296	327 60

#### 3. 差異理由

2023年9月期第2四半期累計期間での業績予想につきましては、エレクトロニクス産業では、堅調に推移しておりましたが、大学・試験研究機関、医療関連等ライフサイエンス分野で受注が減少したこともあり、売上高は前回公表予想を下回りました。

しかしながら、利益率の向上や経費節約の効果も出て、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益が前回公表予想を上回りました。

なお、2023年9月期通期の見通しに関しては、新型コロナウイルス感染症の動向及びウクライナ情勢など不確定要素も多いことから、現在精査中で修正の必要が生じた際には、速やかに開示いたします。

※ 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後のさまざまな要因によって予想数値と異なる場合があります。